



# 『日本語教育』187号 (2024年4月発行) 特集テーマ

## 投稿募集

新規投稿申込期日：  
2023年8月20日(日)  
日本時間 23:59

[投稿要領等](#)

## 日本語教育における質的研究の動向

本特集では、日本語教育学会の[理念体系](#)の社会的研究課題3「日本語教育学の「学問的専門分野」としての体系的枠組みの構築」に基づき、「日本語教育学における質的研究の動向」をテーマとします。

近年、日本語教育学においても様々な研究手法が取り入れられ、発展してきています。そこで、今回の特集では、特にナラティブ分析やエスノグラフィー、複線径路等至性モデリング(TEM)、TEA、M-GTAなどを用いた質的研究に焦点を当てた寄稿論文により、日本語教育学の研究において、それらの研究手法にはどのような可能性があるのかを考えてみたいと思います。

会員の方々からの投稿においても、多様な学習者や教師の背景、学習または教育プロセスなど個々の事例について、質的研究の分析手法を用いた論文を広く募集します。みなさまの積極的なご投稿をお待ちしております。

学会誌委員会 特集担当：村澤 慶昭(代表)，河住 有希子，木谷 直之